

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
	水のかさのたんい 水のかさをはかろう	B(2) ア	8		小学校第1学年 「どちらがおおい」	○長さと同様、①直接比較、②間接比較、③任意単位、④普遍単位の段階で指導する。	小学校第4学年 「小数」 小学校第5学年 「体積のはかり方と表し方」	
8	計算のくふう 計算のしかたをくふうしよう (1) 3つの数の計算 (2) たし算とひき算	A(2) ウ	4		小学校第1学年 「ふえたり へったり」			
9	たし算とひき算のひっさん ひっさんのしかたを考えよう (1) たし算のひっさん (2) ひき算のひっさん (3) 大きい数のひっさん	A(2) イ	11+1	各位の計算を、位をそろえて形式的に処理しやすくしたものが筆算形式であり、この計算方法は十進位取り記数法に基づく計算であり、以降の乗法や除法の計算の原理にもなるので、具体的な場面に基づいて計算の意味や計算の仕方を考えさせながら指導することが必要である。	小学校第1学年 「たし算」 1位数+1位数 「ひき算」 2位数-1位数	○十の位への繰り上がり・繰り下がりから類推して、百の位でも繰り上りや繰り下がりをつかませる。次学年以降、桁数が増えても同じ考えが使えることに気付かせる。	小学校第3学年 「たし算とひき算の筆算」 3位数-2,3位数 3位数-1~3位数	■1 人ひとりが机上で操作できる大きさのタイル(方眼紙等で作製)を用意し、繰り上がりのしくみを操作しながら理解できるようにする。
	三角形と四角形 形をしらべよう (1) 三角形と四角形 (2) 長方形と正方形	C(1) ア,イ	9		小学校第1学年 「かたちをかいてみよう」	○分数について理解する上で基盤となる素地的な学習活動を行い、分数の意味を実感的に理解できるようおさえる。	小学校第3学年 「三角形」 (二等辺三角形 正三角形)	
10	分数 分けた大きさをあらわそう	A(1) オ	2			○具体物を用いて 1/2、1/4 などの大きさを作ることや、これらの数を分数と呼ぶことを指導する。分数について理解する上で基盤となる素地的な学習活動を行い、分数の意味を実感的に理解させる。	小学校第3学年 「分けた大きさの表し方を考えよう」 分けた大きさの表し方 分数の大きさの表し方 分数のたし算とひき算	
	かけ算(1) 新しい計算を考えよう (1) かけ算 (2) 5のだん、2のだんの九九 (3) 3のだん、4のだんの九九	A(3)ア,イ,ウ	25+1	乗法九九は以後の学年で取り扱う乗法計算の基礎的な技能として欠くことのできない重要なものである。九九表を観察したり、児童自らが作ったりする作業的な活動を通して乗法九九の構成に習熟しておくことが必要である。	小学校第1学年 「10より大きい数」 ・2ずつ、5ずつまとめて数える 「20より大きい数」 ・数の構成に基づく数の数え方(10がいくつという見方) 「たしざん」 ・たし算 ・3口のたし算	○かけ算が未習である子どもは初め、たし算で答えを求め、これを認めた上で、かけ算の約束に結びつけさせる。 ○aをb回たす場合は、 $a \times b$ とかいた方が問題の構造を明確に表せるよさに気付かせる。 ○九九を構成する際は、いくつずつ数が増えるか着目させ、関数的な考えを引き出すようにする。	小学校第3学年 「かけ算」 ・0のかけ算 ・計算の決まり ・筆算 (2,3位数×1位数) (2位数×2位数) 「わり算」	■「ひとつ分」「いくつ分」を意識させるために、式が表している状態を実際につくる。または絵に表す。 (例) 5×4 ・5つのイチゴがのっている皿が4枚? ・5つの皿に4つずつイチゴがのっている?
11	九九ビンゴ ・活動を通しての九九の習熟		1					

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化・精選化等の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
11	かけ算(2)	A(3)ア,イ,ウ,エ D(2)	17+1	乗法九九は以後の学年で取り扱う乗法計算の基礎的な技能として欠くことのできない重要なものである。九九表を観察したり、児童自らが作ったりする作業的な活動を通して乗法九九の構成に習熟しておく必要がある。	小学校第1学年 「10より大きい数」 ・2ずつ、5ずつまとめて数える 「20より大きい数」 ・数の構成に基づく数の数え方(10がいくつという見方) 「たしざん」 ・たし算 ・3口のたし算	○aをb回たす場合は、 $a \times b$ と書いた方が問題の構造を明確に表せるよさに気付かせる。 ○九九を構成する際は、いくつずつ数が増えるか着目させ。関数的な考えを引き出させる。	小学校第3学年 「かけ算」 ・0のかけ算 ・計算の決まり ・筆算 (2,3位数 \times 1位数) (2位数 \times 2位数) 「わり算」	■学習した九九を使うかけ算の問題をつくる。 ・はじめは穴埋めにして、慣れてきたら自分で。 (例) 7のだんの九九 ・イチゴを1人に()くばります。6人にくばると()になりますか。
12	九九をつくろう (1) 6のだん、7のんの九九 (2) 8のだん、9のだん1のだんの九九 (3) ばいとかけ算 (4) 九九のひょうときまり (5) もんだい							
1	4けたの数 1,000より大きい数をしらべよう	A(1)ア,イ,ウ,エ	11		小学校第1学年 「20よりおおい数」	○10000までの命数、記数法を確実に理解できるようにする。 「千の位」「位取り」などの用語も確実に使えるようおさえさせる。	小学校第3学年 「大きい数のしくみ」 千万の位までの数	
	長いものの長さのたんい 長さをはかろう	B(1) ア	9				小学校第3学年 Km、距離、道のり	
2	たし算とひき算 図をつかって考えよう	A(2)ウ D(1)	4+1		小学校第1学年 「たし算とひき算」	○「あわせて」「のこりは」という言葉だけに頼って立式するのではなく、テープ図に表して式を立てさせる。図や式についての理解を深め、図や式を用いて表したり、読み取ったり、説明したりできるようにさせる。		■はじめは、テープ図に色をぬり「ぜんぶ」「のこり」等がどこになるのか考える。 慣れてきたら、()に記入したり、自分でテープ図をかけるようにする。 
	はこの形 はこを作ろう	C(1) ウ	6		小学校第1学年 「かたちあそび」 (立体図形の素地)	○箱の形(直方体、立方体)について頂点や辺、面などの構成要素に着目し、立体の基本的な概念を理解させる。	小学校第4学年 「直方体と立法体」 小学校第5学年 「角柱と円柱」 (展開図、見取図)	
3	計算ピラミッド ・1~2位数の加減計算の習熟 ・伴って変わる2つの数量の関係に関する初歩的な考察		2					
	2年のふくしゅう		3					
	合計		175					